

## Silk Test 15.0

Silk4NET チュートリ  
アル

**Micro Focus**  
575 Anton Blvd., Suite 510  
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2014. All rights reserved. Silk Test は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2014 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-12-17

# 目次

Silk4NET 入門ガイド .....	4
Silk4NET プロジェクトの作成 .....	5
プロジェクトへの Silk4NET テストの追加 .....	6
Silk4NET テストの記録 .....	7
Silk4NET テストを実行する .....	8
TrueLog の有効化 .....	9
テスト結果の分析 .....	10

# Silk4NET 入門ガイド

Silk4NET を使用するには、次の操作を実行します。

1. Silk4NET プロジェクトを作成します。
2. プロジェクトに Silk4NET テストを追加します。プロジェクトには記録されたテストおよび、手動でスクリプトを作成したテストを含めることができます。
3. テストを実行します。
4. テスト結果を分析します。

# Silk4NET プロジェクトの作成

1. Silk4NET > **新しいプロジェクト** または **ファイル** > **新しいプロジェクト** をクリックします。 **新しいプロジェクト** ダイアログ ボックスが表示されます。
2. **インストール済み** > **テンプレート** で、 **Visual Basic** または **Visual C#** をクリックし、 **テスト** を選択してから **Silk4NET プロジェクト** を選択します。
3. プロジェクトの名前を **名前** フィールドに入力します。
4. 省略可能：ソリューションの名前を **ソリューション** フィールドに入力します。
5. **OK** をクリックします。 **Silk4NET テストの作成** ダイアログ ボックスが開きます。
6. 次のいずれかのオプション ボタンをクリックして、Silk4NET テストの作成方法を選択します。


**Silk4NET テストの記録**    テスト対象アプリケーションに対する操作および検証を記録し、記録されたオートメーション ステートメントを含む新しいテストを生成します。

**空の Silk4NET テストの作成**    オートメーション ステートメントを後で入力できる空のテストを作成します。

7. **OK** をクリックします。空の Silk4NET テストを作成するように選択した場合は、Silk4NET プロジェクトを含む新しいソリューションが作成されます。また、このプロジェクトには、言語固有の以下のファイル名を使用して、Silk4NET テストも作成されます。

- UnitTest1.vb
- UnitTest1.cs


8. 新しい Silk4NET テストを記録するように選択した場合は、**アプリケーションの選択** ダイアログ ボックスが開きます。タブをクリックしてテストするアプリケーションの種類を選択し、リストからアプリケーションを選択します。
9. Web アプリケーションをテストするには、**ブラウズする URL** フィールドに Web アプリケーションの URL を入力します。
- 10 **OK** をクリックします。テストメソッドの再生で Google Chrome の既存のインスタンスを選択した場合は、Silk4NET がオートメーション サポートが含まれているかどうかをチェックします。オートメーション サポートが含まれていない場合は、Silk4NET が Google Chrome を再起動する必要があることを通知します。アプリケーションと **記録中** ダイアログ ボックス、または **モバイルの記録** ダイアログ ボックスが開きます。

 **注:** **ソリューション エクスプローラ** のコンテキスト メニューを使用して、Silk4NET プロジェクトを既存のソリューションに追加することもできます。

# プロジェクトへの Silk4NET テストの追加

既存の Silk4NET またはテストプロジェクト、Silk4NET テストを追加することができます。Silk4NET またはテストプロジェクトが存在しない場合、Silk4NET テストを作成する前に Silk4NET またはテストプロジェクトを作成してください。

1. **Silk4NET > 新しいテスト** または **プロジェクト > 新しい項目の追加** をクリックします。

 **注:** ソリューションに複数の Silk4NET プロジェクトが存在する場合、新しいテストを追加したいプロジェクトを**プロジェクトの選択** のリストから選択します。

**新しい項目の追加** ダイアログ ボックスが開きます。

2. **インストール済み** で次のいずれかをクリックします。

- プロジェクトが Visual Basic プロジェクトの場合は、**共通項目 > Silk4NET テスト** をクリックします。
- プロジェクトが Visual C# プロジェクトの場合は、**Visual C# アイテム > Silk4NET テスト** をクリックします。

3. テストの名前を **名前** フィールドに入力し、**追加** をクリックします。**Silk4NET テストの作成** ダイアログ ボックスが開きます。

4. 次のいずれかのオプション ボタンをクリックして、Silk4NET テストの作成方法を選択します。

**Silk4NET テストの記録** テスト対象アプリケーションに対する操作および検証を記録し、記録されたオートメーション ステートメントを含む新しいテストを生成します。


**空の Silk4NET テストの作成** オートメーション ステートメントを後で入力できる空のテストを作成します。

5. **OK** をクリックします。空の Silk4NET テストを作成するように選択した場合は、Silk4NET プロジェクトを含む新しいソリューションが作成されます。また、このプロジェクトには、言語固有の以下のファイル名を使用して、Silk4NET テストも作成されます。

- UnitTest1.vb
- UnitTest1.cs

6. **OK** をクリックします。テストメソッドの再生で Google Chrome の既存のインスタンスを選択した場合は、Silk4NET がオートメーション サポートが含まれているかどうかをチェックします。オートメーション サポートが含まれていない場合は、Silk4NET が Google Chrome を再起動する必要があることを通知します。アプリケーションと **記録中** ダイアログ ボックス、または **モバイルの記録** ダイアログ ボックスが開きます。

テストを記録するように選択した場合は、記録したテストがプロジェクトに追加されます。空のテストを追加するように選択した場合は、空の Silk4NET テストがプロジェクトに追加されます。

 **注:** **ソリューション エクスプローラ** のコンテキスト メニューを使用して、Silk4NET を Silk4NET またはテストプロジェクトに追加します。

# Silk4NET テストの記録

1. Silk4NET > 新しいテスト または プロジェクト > 新しい項目の追加 をクリックします。



**注:** ソリューションに複数の Silk4NET プロジェクトが存在する場合、新しいテストを追加したいプロジェクトを**プロジェクトの選択**のリストから選択します。

**新しい項目の追加** ダイアログ ボックスが開きます。

2. **インストール済み** で次のいずれかをクリックします。

- プロジェクトが Visual Basic プロジェクトの場合は、**共通項目** > **Silk4NET テスト** をクリックします。
- プロジェクトが Visual C# プロジェクトの場合は、**Visual C# アイテム** > **Silk4NET テスト** をクリックします。

3. テストの名前を **名前** フィールドに入力し、**追加** をクリックします。**Silk4NET テストの作成** ダイアログ ボックスが開きます。

4. **Silk4NET テストの記録** を選択して、**OK** をクリックします。

5. テストするアプリケーションの種類に対応するタブを選択します。

- ブラウザで実行しない標準アプリケーションをテストする場合は、**Windows** タブを選択します。
- Web アプリケーションまたはモバイル Web アプリケーションをテストする場合は、**Web** タブを選択します。

6. 標準アプリケーションをテストする場合は、リストからアプリケーションを選択します。

7. Web アプリケーションまたはモバイル Web アプリケーションをテストするには、リストからインストール済みのブラウザまたはモバイル ブラウザのうちの 1 つを選択します。

**ブラウズする URL** テキスト ボックスに、開く Web ページを指定します。チュートリアルの場合、**Internet Explorer** を選択し、**ブラウズする URL** テキスト ボックスに <http://demo.borland.com/InsuranceWebExtJS/> を指定します。

8. **OK** をクリックします。テストメソッドの再生で Google Chrome の既存のインスタンスを選択した場合は、Silk4NET がオートメーション サポートが含まれているかどうかをチェックします。オートメーション サポートが含まれていない場合は、Silk4NET が Google Chrome を再起動する必要があることを通知します。アプリケーションと **記録中** ダイアログ ボックス、または **モバイルの記録** ダイアログ ボックスが開きます。

9. 記録を行う、テスト対象アプリケーションとの対話を実行します。

モバイル Web アプリケーションの記録についての詳細は、モバイル Web アプリケーションの記録を参照してください。モバイル デバイスに対する操作の記録についての詳細は、モバイル デバイスの操作を参照してください。

10 記録が終了したら、**記録の停止** をクリックします。**記録完了** ダイアログ ボックスが開きます。ダイアログ ボックスにある **再生** をクリックして、記録したテストを再生できます。

- Visual Studio 2010 を使用している場合、Visual Studio の **テスト ビュー** にアクセスしてテストを再生したり管理することもできます。
- Visual Studio 2012 を使用している場合、Visual Studio の **テスト エクスプローラー** にアクセスしてテストを再生したり管理することもできます。

記録された対話は、プロジェクトにファイルとして追加されます。生成されたファイルのデフォルトのファイル名は、プロジェクトのデフォルト プログラミング言語に応じて、UnitTest<Index>.cs または UnitTest<Index>.vb になります。たとえば、Visual Basic プロジェクトの初回テストを記録している場合、生成されたファイルの名前は UnitTest1.vb になります。



**注:** 新しいプロジェクトを作成し、そこに新しいテスト記録することもできます。


# Silk4NET テストを実行する

このトピックでは、Silk4NET テストを Visual Studio で実行する方法について説明します。

1. 選択したプロジェクトまたはソリューションで利用可能なすべてのテストを表示するには：
  - Visual Studio 2010 の場合、**テスト > ウィンドウ > テスト ビュー** をクリックします。
  - Visual Studio 2012 の場合、**テスト > ウィンドウ > テスト エクスプローラ** をクリックします。
2. **テスト ビュー**、または **テスト エクスプローラ** (使用している Visual Studio のバージョンによる) で、実行するテストを選択します。
3. 選択項目を右クリックして、次のいずれかをクリックします。
  - Visual Studio 2010 の場合、**選択範囲の実行** をクリックします。
  - Visual Studio 2012 の場合、**選択したテストの実行** をクリックします。

選択したプロジェクトまたはソリューションのすべてのテストを実行するには、**テスト ビュー**、または **テスト エクスプローラ** (使用している Visual Studio のバージョンによる) で、**すべて実行** をクリックします。

4. Web アプリケーションをテストしている場合で、かつ再生をサポートしている複数のブラウザがマシンにインストールされている場合、**ブラウザの選択** ダイアログ ボックスが開きます。ブラウザを選択して、**実行** をクリックします。
5. テストの実行が完了すると、**再生完了** ダイアログ ボックスが開きます。TrueLog を使用してテスト結果を調べるには、**結果の検討** をクリックします。ダイアログ ボックスを閉じるには、**OK** をクリックします。

 **注:** テストを実行し、Visual Studio がテストの実行に必要なコンポーネントを開始する場合、Visual Studio はテスト実行が完了したときにすべてをクリーンアップします。つまり、Open Agent とすべての開いているブラウザ ウィンドウが強制終了されます。



# TrueLog の有効化

新しい Silk4NET スクリプトでは、TrueLog がデフォルトで有効になっています。Visual Studio Unit Testing Framework を使用している既存の Silk4NET スクリプトで TrueLog を有効にするには、スクリプト内のすべてのテスト クラスの TestClass 属性を SilkTestClass 属性で置き換える必要があります。

TrueLog を有効にするには、以下を実行します。

1. TrueLog を有効にするテスト クラスが含まれたスクリプトを開きます。
2. テスト クラスに SilkTestClass 属性を追加します。

ディレクトリの TestResults サブディレクトリに TrueLog が作成されます。このディレクトリには、Visual Studio ソリューション ファイルおよび Visual Studio Unit Testing Framework の結果が格納されています。Visual Studio ソリューション ファイルには、Silk4NET スクリプトが格納されています。Silk4NET テストの実行が完了したら、ダイアログ ボックスが開きます。**結果の検討** をクリックすると、完了したテストの TrueLog を確認できます。

## 使用例

Visual Basic スクリプト内のクラスに対して TrueLog を有効にするには、以下のコードを使用します。

```
<SilkTestClass()> Public Class MyTestClass
  <TestMethod()> Public Sub MyTest()
    ' my test code
  End Sub
End Sub
```

C# スクリプト内のクラスに対して TrueLog を有効にするには、以下のコードを使用します。

```
[SilkTestClass]
public class MyTestClass {
  [TestMethod]
  public void MyTest() {
    // my test code
  }
}
```

# テスト結果の分析

テストを実行後、テスト結果を確認し、テスト実行の成功または失敗を分析できます。

1. Silk4NET テストを実行します。実行が終了すると、**再生完了** ダイアログ ボックスが開きます。
2. **結果の検討** をクリックし、TrueLog を使用してテスト結果を調べます。Silk TrueLog Explorer が開きます。
3. Silk TrueLog Explorer で結果をクリックします。  
テストに失敗すると、Silk TrueLog Explorer によってスクリーンショットがキャプチャされます。